



(1ページより続き)

阿部 靖：自分の専門分野である、首の椎間板ヘルニアになりました。右手、右首がしびれて思うようにならず、手術をしてもらいました。仙台の病院が一杯だったこともあり、山形で処置しました。焦らずに治し今は良くなり、月・金と週二日診察の仕事をしています。家ではテレビ番組欄を細部にチェックし、健康に関する番組などを観ながら、ゆっくりと過ごしています。

横倉 純：現役時代の職場の上司Tさんの思い出です。と。独特の金銭感覚を持ち、ユニークな方。その1・ある日、社の月極駐車場を車を接触させてしまったので、持ち主を教えてください、との電話で向こうが車種を言ってる「コアラ?コアラ?あ〜ソアラ・・・、ソアラって何?」。その2・また電話のやりとり「りえちゃん?りえちゃん?どういう字を書くの?・・・あ〜これ今使って無いおんはね」。その3・常に「これ高いから大事に使えよ」と指示、ある時「いくらするんですか?」と粘って聞くと・・・応えは「100円!!」でした。

田中京子：月日の経つのは早いわあ〜、タイヤ交換もしないと、とカレンダーを見ると残りもう一枚、はあ〜、こんな思いをするのは、歳のせい?でも新潟の実家の父は92才で一人暮らし、月に一度はサポートに行きますが、私も頑張らなければです。

田村成子：食欲の秋ですかね〜、新米が美味しくて進むのよ〜、いろいろ気にもなりますが、元気に楽しく冬を迎えられるよう、備えです・・・。メネット会もウィメンの方々の支援に助けられておりますが、今月28日(土)は熱海で「東日本区メネットのつどい」があり参加してきます、ご意見などございましたらお聞かせ下さい。

工藤正剛：超忙しいです、今日も出席は無理かな〜と思ったが、切手整理があるので何とか来ました。"土"とつく仕事をしている人は12月は色々書類の締切があり、多忙になります。行政書士の仕事に携わっている自分もそのとおりで、思うように捗らないと気がかり焦ります。趣味の畑は夏の日照りで根菜類が良くなり、秋の大雨で大根、白菜は蒔き直しの為、生育が弱く今年は残念です。(でも先月芋煮会に戴いた里芋はとても美味しく、皆さん大喜びでしたよ)

加藤雄一：本日の切手整理は本当に心地良いです、と一言。(忙しさから、ちょっとゆっくりの気分?)今の時期、中学生、高校生が職場体験に来られますが、我が中学生の息子も職場体験をしており、朝出がけに「会社に行って来るから」との姿に、ちょっと驚き、新鮮な気持ちにもさせられます。また、昨今の情勢でヨーロッパ研修が中止になったことを息子に送信すると"ピース!!"の返信があり、安心してくれたんだと、親子の絆を感じました。

佐々木絹子：本日の例会記録を担当することになり、不慣れなまま皆さんのスピーチを筆記しております。思ったことは「スピーチハンザイ」です。例会で楽しい時を過ごせるし、温かいふれ合いや、意見交換などワイズの仲間は上下左右が無いので本当に素晴らしい!こんな素敵な会を沢山の友人知人に紹介しなくては・・・。皆さんワイズにお友達をお願いしましょう。

12月第2例会の主な報告

<12/1(火)出席：加藤・佐々木・中川・永井・田村メネ・横倉・吉田>

- 12月クリスマス例会について決定、内容等を確認する。
- 11/28(土)に開催された北東部評議会について中川部長より、北東部会決算の承認・ユースリーダーズアクトへの支援金支出の承認・次々期北東部長が宇都宮東クラブの鈴木伊知郎さんに決定・北東部バナー作成の件、等について報告があった。
- 12/2(水)仙台YMCAクリスマス会の支援について、例年通りの内容で集合時間等を確認する。
- 12/6(日)YMCA職員クリスマス 16:00~礼拝 18:00~祝会 中川・横倉参加予定。
- 12/11(金)冬季ユースリーダー委嘱状授与式 18:45~YMCA 4階ホール 出席可能な方は、是非お励ましをお願いします。
- 新年合同例会は広瀬川クラブが幹事で開催日は1/20(水)に決定、会場等は別途確定する。

YMCAニュース

第44回目となる仙台YMCAクリスマスが12月2日(水)仙台市民会館展示室で行われました。当日は、41名の留学生を含め347名の参加者が一堂に会しました。

日本キリスト教団いすみ愛泉教会佐藤真史牧師によるクリスマスメッセージの後には、メネットの皆様による手作り料理を含めた心のこもった料理でおもてなし。また、ボランティアリーダーたちが演出するゲーム大会も大変な盛り上がりを見せ、少し早目のクリスマスをみんなで過ごすことができました。



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ12月報

- 国際会長主題 「信念あるミッション」
- アジア地区会長 「愛をもって奉仕をしよう」
- 東日本地区理事主題 「原点に立って、未来へステップ」
- 北東部長主題 「今と原点を融合して未来へ」
- クラブ会長主題 「自分をみつめて 未来へ向かって」

| | |
|--------|---------|
| 会 長 | 永 井 孝 憲 |
| 副会長 | 田 村 治 |
| 書 記 | 横 倉 一 純 |
| 会 計 | 吉 田 成 子 |
| YMCA会長 | 田 村 成 子 |
| 担当主事 | 加 藤 藤 |

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内
 仙台クラブFacebook : <https://www.facebook.com/sendaiys>

<今月の聖句>

わたしの魂は主を崇め、わたしの霊は救い主である神を喜びたえます。 身分の低い、この主のはしのために、目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人も、わたしを幸いな者と言うでしょう、力のある方がわたしに偉大なことをなさいましたから。

ルカによる福音書 第2章47節~49節

会長挨拶 会長 永井 孝憲

師走に入り、何かに急かされる日々でもありますが、皆様にはお変わりございませんでしょうか。

先月より、第3回目になりました「被災地少年サッカー交流&ユースリーダーズアクト」、第2回「北東部評議会」、第44回「仙台YMCAクリスマス」と続きましたが、皆さんのご協力により無事終了できましたこと、心から感謝申し上げます。

11月例会報告

日 時：2015年11月17日(火) 19:00~21:00

場 所：仙台YMCA会議室

出 席：阿部・今澤・小幡・加藤・工藤・高松・田中・田村メネ・永井・中川・横倉・吉田

内 容：皆で使用済み切手の整理をしながら、出席者全員から自由テーマで、3分間のめやすでスピーチを頂いた。以下はスピーチ要旨です。

中川典幸：今期は北東部長を担ったものの、いつになく仕事が超忙して、できたら体が三つほどほしいな〜と思ったりしています。楽しみにしていた先月の芋煮会にも出席できずに、とても残念でした。これから被災地少年サッカー交流、北東部評議会と続きますが、頑張ります。

高松成士：保育園の「もちつき大会」を終えほっとしていますが、体調を崩している園児や保育士の方がおり、一日も早い回復を願っています。皆さんもお祈り下さい。

小幡忠弘：しばらく休んでいた、趣味の一つで仙台藩の流れを組む「古武道」ですが、このほど演武大会への参加を依頼され、稽古を再開しています。ところが甲冑を身につけると、パンパンで(泣)どうしたものかと思案しながら、ダイエットにも挑戦中です。

今澤智代：観るスポーツ大好きな私、最近ハマっているのが「五郎丸」です。テレビの中の食べっぷりにも"うっとり・・・"例のポーズにも"キャーキャー"言ってます。つまり「五郎丸」で脳活性に励んでいます。(出席者皆から「わ〜、ミーハーだ〜」の声)

吉田一恵：洋裁をはじめめています。専業主婦になったので、着物を倒して巾着袋を、20個作りました。孫の服や、自分の服にも挑戦中。また、テレビの歌番組も楽しみで、昔の歌をじっくりと聴いています。(4ページへ続く)

12月例会のご案内

日 時：12月15日(火)
 18:30-21:00
 (前段礼拝予定)

会 場：ダイニングバー
 「DUNK(ダンク)」
 上杉1-8-17
 上杉21ビル・1階

T E L : 022-265-2088

会 費：4,500円
 (メン・メネット共)

内 容：恒例オークション他。
 (1ファミリー、1品以上の献品をご持参下さい)

担 当：佐々木絹子・永井孝憲

司 会：佐々木絹子

食前感謝：小幡忠弘

11月例会報告

| | |
|-----------|---------|
| 在籍者 | 19名 |
| 出席者 | 12名 |
| メイキャップ | 0名 |
| ゲスト・ビジター | 0名 |
| メネット・コメント | 1名 |
| 出席率 | 63.2% |
| ニコニコ | 12,000円 |

会員寄稿

ロドニー・スターク（米国の宗教社会学者）著の“キリスト教とローマ帝国（小さなメシア運動がローマ帝国に広がった理由）”を読んでYMCAについて考えたこと

阿部 靖

*ローマ帝国の東のはずれで起こった小さなメシア運動が、どうして当時の多神教を駆逐し、西洋文明の支配的信仰になったのか、かねがね疑問に思っていた。この本は幾つかの理由を挙げて説明しているので紹介したい。ちなみに現在の世界の人口は70億人、そのうちキリスト教徒は23億人（33%）。

*キリスト教徒の増加の原因を、ある時期に集団的に改宗者が出たと考える必要はない。キリスト教徒数の妥当な成長曲線は、年3.4%の増加率で、即ち10年で40%増であったと推測している。キリスト教発生直後で1000人、3世紀半ば頃は人口の「ほんの一握り」に過ぎないと述べており、オリゲネスもこれを認めている。しかし、その60年後に、キリスト教徒の数が非常に多くなったのを見て、コンスタンティヌス一世はキリスト教を認める方が都合がよいと気づいた。キリスト教が公認された西暦300年では、ローマ帝国人口の1割の600万人という数字をあげているが、これは多くの学者も妥当と考えている。スタークはその増加率を延長し、西暦350年には人口の半数がキリスト教徒であったとしている。この急激な増加は指数曲線的に増加したためと解釈される。その後は増加率が低くなるが、これは改宗しそうな人が少なくなったからである。

*人が改宗するプロセス

①教理の正当性が第一。伝道者の説教が基本である。しかし、これだけではなかなか改宗しない。
②人と人とのつながり（ネットワーク）が大事。マタイ福音書25.35～40にある愛と奉仕の精神の実行（弱者への慈しみと奉仕）を人と人とのつながりの中で観察し、また自分もこれに加わることが改宗につながる。これはキリスト教会、キリスト教主義学校、YMCA、YWCAなどにおける愛と奉仕の精神の実行と通ずるものがあると考えられる。特に西暦165年の疫病（伝染病の流行）は人口の1/4～1/3が死亡したとされるが、この時キリスト教徒は信者のみならず異教徒をも看護した。患者を見捨てず、都市に留まって看護するキリスト教徒の献身的奉仕を見て感動し改宗する人が多かった。
③その他、ギリシャ・ローマ世界では女の児と奇形のある男の児を育てない（間引きする）のは合法で、道徳上認められて広く行われていたので、大家族でも女の児を2人以上育てることは少なかった。また妊娠中絶による妊婦の死亡も多かった。それに反しキリスト教では間引きと中絶を禁止していたので出生率が高かった。またキリスト教では女性への性差別が他の宗教に比し少なかったので女性の改宗者が多かった。

15年11月

メネット会長通信

今年もあと少しあわただしく一日がすぎしていきます。11月28日熱海で東日本区「メネットのつどい」がありました。「今後のメネット事業の在り方について」の題でしたので行って来ました。北東部から3人。盛岡クラブの井上さん、青葉城クラブの加藤さんと私。北東部としては、少しさびしい参加人数でした。「メネットのつどい」の内容の報告は、青葉城クラブの加藤さんがまとめて下さったものを記載させていただきます。

スペシャルトークして、元国際会長の竹内敏朗副会長からは、アジアで初めて開催された熱海での国際大会での御苦労話とその時のメネットの活躍ぶりが語られ、また、元メネット国際ディレクターの藤井祥子メネットからは、国際的には、メネットまたはメネットクラブとして独立して活動しているところ、クラブの一部になっているところとに分かれ、日本は後者に当てはまりますが、国際協会が規定しているメネットの形は前者でこのような形が望まれているようです。ただ今の段階では、国際の意向に添うのは難しく、形態はどうであれ、相対的にメネットとしての活動をこれからも何とか続けていきたい、という考えが多かったように思いま

言葉の力
岡 久雄

「初めに在ったのァ 神様の思いだった。思いが神様の胸に在った。その思いこそア神様そのもの。初めに初めに神様の胸の内に在ったもの。」

上記は、ケセン語訳新約聖書の著者として有名な山浦玄嗣先生が記された新約聖書「ヨハネアタより」冒頭の聖句である。

新共同訳では「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。」となっている所を、岩手県気仙郡で開業医を営みながらカトリック教会で伝道を熱心に続けて居られる、山浦医学博士は、三陸海岸の田舎育ちの人々にも、聖書の言葉がよく理解出来るようにと、仕事の合間にギリシャ語訳。ラテン語訳の聖書をも繕きながら、新たにケセン語で翻訳出版されたものである。

私が始めて山浦先生にお会いしたのは、国際ワイズメンズクラブ東日本区の北東部大会が岩手県で開催された時であり、先生と親しく言葉を交わしながら、サイン入りの先生著のケセン語訳聖書を購入了。

先生の熱心な礼拝時の奨励に、参加者は大いに感動し、あるノンクリスチャンの会員は「これまでワイズやYMCAなどの会合でいろいろ聖句を聞かされ、共に唱えてきたが、山浦先生の話聞いて、始めて聖書の言葉が、心に沁みて身近に感じられるようになった。」と私に告白した。

東日本大震災では、先生の病院も教会も、多くの信徒たちも被災し、犠牲者も少なくなかったが、先生は自分の病院より、まず被災者たちの救援に活動されたと言うニュースを新聞で読み、先生の無事を知って本当に嬉しかった。

その後の一時期、我が家の朝食前の聖書輪読にケセ

ン語聖書の「ヨハネアタより」を用いた。私も家内も、元々東北弁育ちであったから理解に苦しむことは無かった。

私たちの日常生活では、言うまでもなく 言葉は極めて重要である。その時々自分の思いを、しっかり相手に伝えるべきものであるから、その表現が正確で無く、また感情的であれば相手に誤解を与え、時として争いの種となる。

また、聖書には「信仰とは、神を信じるだけでなく、言葉で言い表さねばならない」と記されている。

人と交わす言葉は大事であり、その人の持つ品格そして力でもある。

自分の思いを正しく伝える事と同時に相手の言葉を正しく理解する事は、社会生活を送る人間関係の基本である。その意味でも健常者は言語障害者の思いの表現努力について、一層理解しなければならない。

海外で己の不自由な外国語で弱っている折、日本語で話せる現地の人の人と出会った時は本当に有り難い。

若し他国の人々と同じ言葉で話すことが出来るようになれば、世界はもっと相互理解が深まり、平和が進むであろうと確信している。人間の傲慢さによって、バベルの塔が崩壊し、多くの人々が同じ言葉で話し合えなくなったと言う 旧約聖書の物語は、今も現実的になっている。

言葉は、私たちが普段考えている以上の力を持っている。最近の日本語の乱れを耳にする度に、また文明の発展と共に、人との絆が薄くなっていくような世情を見る度に、私たちは日常使う言葉をもっと大事にしたいと思う昨今である。

す。

これからは新クラブ設立時や、新入会員の入会時にメネットについてもっと説明をしていくことが大切という意見が出され、次期メネット委員長の御顔も少し見えただようで将来の希望が見えた「メネットのつどい」となりました。

各クラブそれぞれの意見、思いはあったと思いますが、時間が押ししてしまい、もう少し他のクラブの意見を聞きたかったかなと、会場を後にし、MOA美術館へと移動し、素晴らしい美術品を楽しんでまいりました。

最後に来るべき年も幸多かれと祈りつつ今年のメネット報告をしめくります。

(田村成子)